



ジャンボリー・オン・ジ・エア 2023 実施要項

2023年7月6日 現在

名 称	ジャンボリー・オン・ジ・エア 2023 (略称 JOTA 2023)
目 的	<ul style="list-style-type: none">● 世界スカウト機構が実施する公式国際行事で、スカウトがアマチュア無線行事に参加し、電波を通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的とする。● 世界的な活動の中でワイヤレス IoT 人材の裾野を広げ、若い人材の創出に寄与します。● 免許を持たないスカウトも、体験運用や参加局の交信を聴取し各地や各国のスカウト活動を理解する。● この行事を機会とし、関連するチャレンジ章、技能章の取得を目指す。
日 時	2023年10月20日(金)00:00~22日(日)24:00 72時間 (各国の標準時間で実施)
主 催	公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
協 力	一般社団法人日本アマチュア無線連盟、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会 アイコム株式会社、CQ出版株式会社、日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ
後 援	総務省 (申請予定)
活動内容	<ul style="list-style-type: none">● スカウト関係者や一般体験者が、アマチュア無線を通じて誰でも参加することができます。● 班、隊、団、地区、県連盟などのグループでそれぞれのプログラムとして実施したり、個人や任意のグループとして参加したりと、参加形態は問いません。※昨年度参考 <ol style="list-style-type: none">1. アマチュア無線の免許を所有する者<ul style="list-style-type: none">・ 国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、互いの氏名・所属団・所在地・活動状況等を話し合い、記録する。2. アマチュア無線の免許を持たない者<ul style="list-style-type: none">・ 免許を持たない者の交信は、日本では電波法で禁止されているため、参加局の交信を聴取することによる参加とする。<u>または、体験運用(アマチュア無線の交信体験制度)として開設する参加局にて交信する。</u>・ 所属する隊・団・地区・県連盟でプログラムとして実施される場合は、これに参加する。
運用方法	<ul style="list-style-type: none">● 世界スカウト周波数に定められている下記の周波数、またはその前後の周波数において、スカウト仲間を呼び出すか、応答し交信相手を決めます。● 相手局が決まったら、他の周波数に移り交信を開始します。ただし、周波数帯によっては、混信のため移れない状態もあるため注意します。● 使用できる周波数と電波型式は、周波数帯ごとに電波法令で定められています。● 運用の際は、各周波数帯の「<u>アマチュア無線バンド使用区別</u>」(次ページ)に従います。 <p>※【重要】2023年(令和5年)9月に、免許証と免許状の同時申請、一括表示記号、適合表示無線設備の手続簡素化、アマチュア局特定附属装置、特例様式、いわゆるバンドプランなど、電波法施行規則等の一部が改正されます。新しいルールで運用ください。</p>
参加方法	<ol style="list-style-type: none">① 日本連盟 JOTA-JOTI サイトの「申し込みフォーム」より、参加申し込み手続き(隊・団・グループの代表者1名)をします。申し込みがあった連絡先に、本イベントに関する情報を共有します。期間は、<u>8月11日(金)~9月28日(木)</u>です。 【 https://www.scout.or.jp/member/jota-joti-2023/ 】② 海外スカウトとの交信や世界スカウト機構(WOSM)が提供するプログラムに挑戦する場合は、WOSMの JOTA-JOTI サイトにアクセスし、登録をします。ここで登録したメールアドレスや SNS アカウント、無線局情報は公開され、世界のスカウトや指導者とつながるきっかけを作ります。【 https://www.jotajoti.info/ 】



③ 参加局は、電波法その他諸規則を厳格に守り、免許を受けている範囲内で運用します。

④ 呼び出しは次の要領により、これに対し応答します。

無線電話：CQジャンボリー 無線電信：CQJAM

⑤ 日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ JA1YSS はクラブホームページに掲示板を用意しました。ご相談や交信相手探しにお使いください。<https://ja1yss.org/daily/>

活動報告

参加したグループは、**11月3日(金)**までに、日本連盟宛に活動報告を提出してください。

● 報告書は日本連盟ホームページの報告書フォームから報告をお願いします。

詳細は今後、日本連盟ホームページに掲載する情報を参照ください。

● 活動の様子をの写真をぜひお送りください。送られた写真は、世界スカウト機構への報告書や日本連盟ホームページ等に使用される場合があります。

※ WOSM 発行の参加証 (カード) は、2019 年より WOSM のサイトで参加登録した方へメールで直接送付される仕組みに変更となりました。日本連盟としての参加証 (カード) の扱いについては、日本連盟 JOTA-JOTI サイトにてお知らせします。

アマチュア無線バンド使用区別

- アマチュア無線局の監督(指揮・立会い)と責任で交信体験(体験運用)ができるようになりました。
- アマチュア無線局免許(コールサイン) 切れにご注意を!

【世界スカウト周波数】

周波数帯	電話(SSB)	電信(CW)	日本国内での周波数
3.5 MHz 帯	3.690 MHz &3.940 MHz	3.570 MHz	3.545 MHz
3.5MHz 帯の周波数帯は、日本では割り当てられていない。			
7 MHz 帯	7.090 MHz &7.190 MHz	7.030 MHz	7.090 MHz &7.190 MHz
14 MHz 帯	14.290 MHz	14.060 MHz	14.290 MHz
18 MHz 帯	18.140 MHz	18.080 MHz	18.140 MHz
21 MHz 帯	21.360 MHz	21.140 MHz	21.360 MHz
24 MHz 帯	24.960 MHz	24.910 MHz	24.960 MHz
28 MHz 帯	28.390 MHz	28.180 MHz	28.390 MHz
50 MHz 帯	50.160 MHz	50.160 MHz	

- ・ 世界スカウト周波数は、原則として呼び出しだけに利用します。
- ・ D-STAR やエコーリンクなどインターネットを使ったシステムでも運用されます。

【国内でよく使用される周波数】

周波数帯	電話(SSB)	電話(FM)
50 MHz 帯	50.250 MHz	指定なし
144 MHz 帯	144.250 MHz 144.340 MHz	指定なし
430 MHz 帯	指定なし	433.340 MHz

※ 周波数は地域で異なります。FM はスカウト周波数、および前後 20 kHz きざみの周波数を利用します。

- ・ スカウト周波数は、ボーイスカウトの独占周波数ではないので、使用する際には、その周波数が使われていないかどうかよく聞き、他の局に迷惑をかけないように心掛ける。また、他のアマチュア無線局の理解と協力が得られるように正しい運用マナーに努めて運用する。
- ・ スカウト周波数だけに固定せずに前後の周波数も有効に使用する。
- ・ 一般アマチュア無線局とも交信し、JOTA やスカウト運動について理解を深めてもらうようにする。

以上

本事業に関するお問い合わせ先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 JOTA-JOTI 担当
TEL:03-6913-6262 E-mail:jota-joti@scout.or.jp

